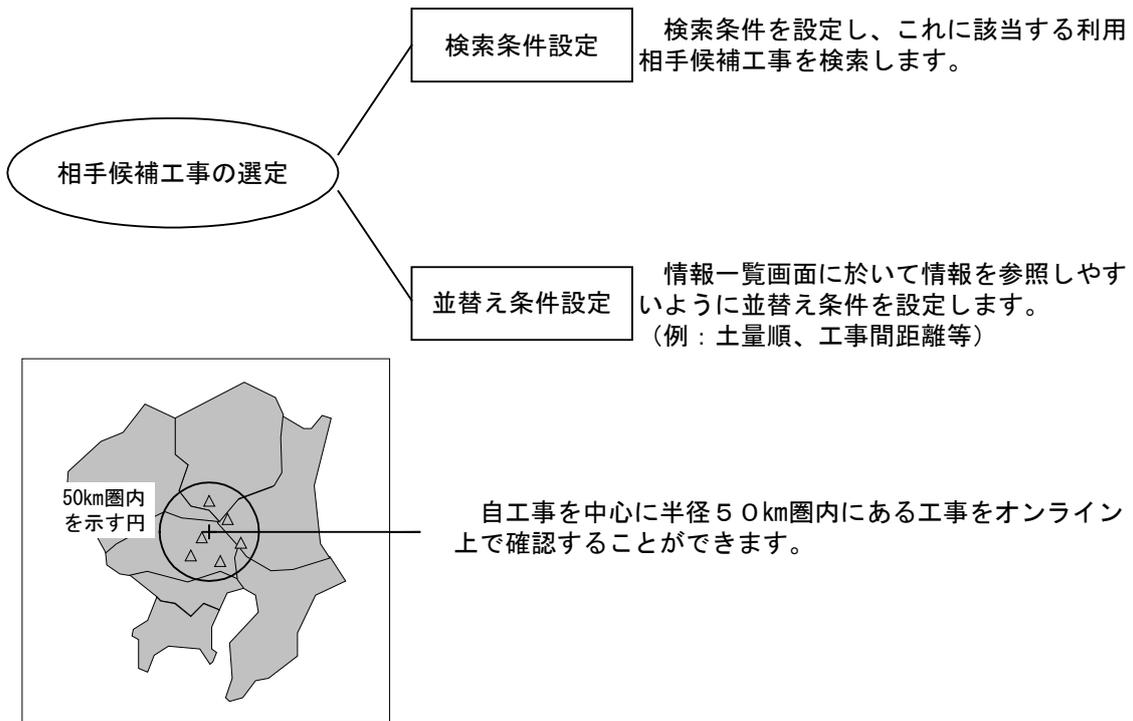


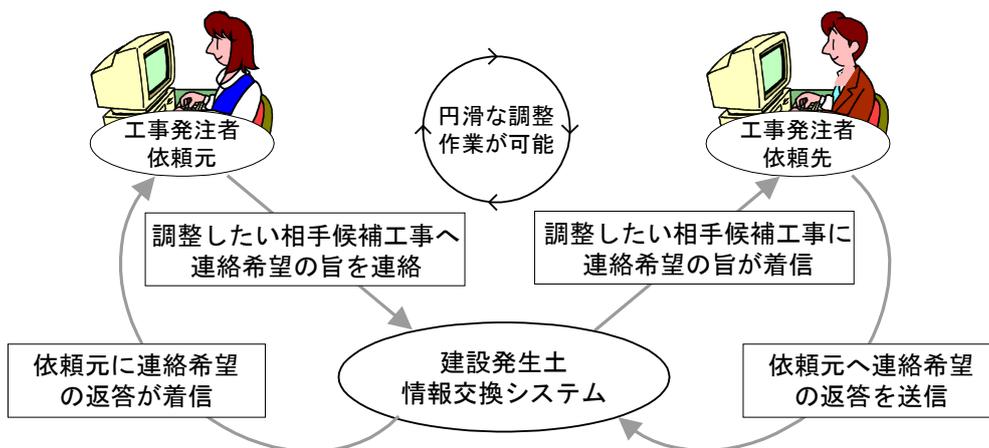
3.1 建設発生土情報交換システムの機能概要

建設発生土情報交換システムの機能概要は、以下に示すとおりです。

①利用したい工事の建設発生土情報をオンライン上で確認することができるため、建設発生土の調整作業をスムーズに行うことができます。また、相手候補工事の選定を支援する機能として「検索条件設定」や「並替え条件設定」等が用意されています。



②オンライン上で、相手候補工事の発注者に調整の連絡を希望（了承）する旨を伝えることができ、電話連絡等を行う前段階で、事前に相手工事の発注者の意思確認ができます。

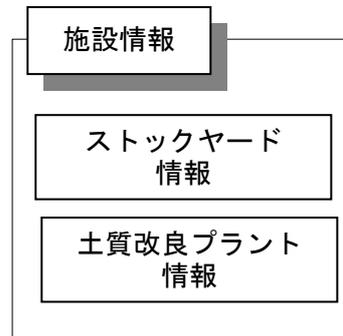


③自機関発注工事について、登録工事の一覧表の作成や実施結果の集計を行うことができます。

※出力可能な帳票の種類

区 分		帳票タイトル	備 考
工事間利用	搬入ベース	利用土砂の建設発生土利用率（再生砂を除く）	工事数、土工数、土量、利用率
	搬出ベース	建設発生土の工事間利用率	
工事間利用未実施		工事間利用の実現しなかった理由の集計	工事数、土量
登録状況	予定・発注後	予定工事調査の登録状況集計	工事数、土工数、土量
	実績	実績工事調査の登録状況集計	

④本システムに登録されている、施設情報を閲覧することができます。



都道府県単位に施設情報が本システムに格納されていますので、該当する都道府県を選択し、施設情報の閲覧を行うことができます。